

厚生文教常任委員会

「子育て支援施策の現況調査」を調査目的とし、子育て支援施策に関する資料の収集及び、子育て支援施策関係者との意見交換を行った。

現地視察は、棚倉第一・第二保育園、棚倉幼稚園、棚倉小学校放課後児童クラブの四カ所。

委員からの報告、及び関係者からの要望は以下の通りである。

棚倉保育園

幼稚園による延長保育、預かり保育の実施により、待機児童がいなくなつたことは、子育て支援の大きな成果であろう。

棚倉幼稚園

「子育て支援」の重点施策となつた、棚倉幼稚園での「預かり保育」。公立と私立、文科省と厚労省という高いハードルを越えての実施は、効果的な施策であつたと思う。

放課後児童クラブ

棚倉小学校の放課後児童クラブ小学校一年生～三年生の児童をもつ核家族家庭にとって放課後児童クラブは必要不可欠なものとなつている。管理面に不安があることから、指導者の増員が望まれる。



▲棚倉幼稚園における預り保育

その他

義務教育終了時までの「医療費無料化」は、子育て支援の大きな施策。実施後、小・中学生の医療費が予想より多くなつてきていることが気になるが、今後の経過を注視したい。

子育ては本来、親、家族、地域が行うもの。日本の生活様式、文化の変化により、核家族化や少子化を招いている。

短期的に「子育て支援」策は重要であるが、同時に、中・長期的な少子化対策を研究しなければならないと感じている。

所管事務調査報告

建設経済常任委員会

「商業振興の取組みと現況調査」を調査目的とし、具体的には、商店会活性化に関する資料の収集及び、商店会関係者との意見交換を行い、調査結果及び委員会からの意見については以下のとおりである。

調査結果

・商店会活性化に関する資料の収集
棚倉町中心市街地活性化基本計画のハード事業については、町の計画的事業執行により、平成二十年度の歩道整備事業で終了している。一方、TMO等民間で実施する商業等の活性化のためのソフト事業については、一部実施しているものの今後更なる推進が必要な状況にある。

・商工会関係者との意見交換
商工会からは「春・夏まつり」等のイベントについては、イベント優先に商売は考えず来場者の喜びを優先に対応している。今後、新たな意見をイベントに反映するため、町民や町職員の参画を望む等の意見がだされた。

また、商工会関係者は商店会活性化について、自己責任、自助努力を求められるが、残す手立てや応援す

る方法の検討が必要であると考えている。
商店会活性化のための内容も検討されているが、個人で解決されるものではなく、組織の中で創り上げるしかない等の話もあつた。

意見

各商店会の事業実施に当たっては、各商店会が連携を密にして全体で取り組み、各商店会の活性化に向けての問題点等も商店会全体の問題として対処してはどうか。

また、商店会の活性化のためには魅力ある商店街づくりや商品づくりが基本であり、行政・商工会・商店会が一体となって施策づくりに取り組むことが重要かと思われる。



▶十万石棚倉城まつり「お国替え籠籠競争」